

地域平和の会と自治体との懇談

【詳細】 (前号 No.765 関連記事)

守谷平和の会が市長と交渉！！

「平和行政」や「自衛隊適齢者名簿」で！！

2016年11月22日(火)、午前9時から9時半まで、守谷市役所庁議室で、任期満了を前にした会田守谷市長との対話が行いました。市より会田市長と総務課長、指導室長、秘書課長。守谷平和の会から齊藤さん、丸町さん、嘉藤田さんの役員と平和の会の会員でもある佐藤弘子さん、山田美枝子さんの両議員が出席して対話を進めました

最初に、守谷平和の会の齊藤会長が「今回は間もなく任期満了を迎える会田市長にご挨拶と次期市長に私たちの要望を引き継いでいただくことで時間をいただきました。また守谷市は平成7年に非核・平和都市宣言を決議して21年目になります。その間の平和行政はどうだったか、私たちの平和行進への協力、また平和パネル展での市よりの後援をいただき、ありがとうございました。」と挨拶しました。以下は要請の内容です。

【平和の会】最近の話題となった南スーダンへの派兵で「日本の自衛隊が武器を持って南スーダンに行ったが市長の考えは？」

【市長】市長としてではなく個人として答えたい。日本が攻撃された場合に備えて武器は必要だと思う。

【平和の会】平和憲法のもとで、話し合いで解決すべきと考えている。

【市長】「憲法だけでは守れない」戦争はいけないと思うが武力はある程度必要だと思う。

【平和の会】町長時代に「非核平和都市宣言」をしたことは重要。

【市長】当時の共産党の松本明子さんも努力した。

【平和の会】守谷市は高校卒業者の名簿を自衛隊に提出したと聞いた。守谷市から積極的に提出することはやめてほしい。名簿提出は義務ではないはずで、市への協力要請だと思う。市が積極的に自衛隊員の募集事務に協力するのはやめてほしい。

【総務課長】国からの要請であり、まるっきり出さないわけにはいかない。

【市長】情報提供しても、その後は個人の判断になる。

【平和の会】自衛隊から要請されたとしても、

①「出せません」という選択、②個人情報を出せない。

③紙媒体として出すべきかどうか。④閲覧は市民にはできないが国はできるのならさせる。という選択が考えられる。

【平和の会】茨城県では20市町村が提出しているが、「提出しない」か「する」かは市が選択できることになっている。

【総務課長】国から要請されたら協力する。

【平和の会】「個人情報保護法」があるのではないか。

【市長】個人情報保護法は今回のことではない。災害者の情報は出すべき。

【平和の会】憲法によって規制されている。市によって名簿提出を止めたところもあるので、検討をお願いしたい。

■短時間でしたが、市長に直接会って要請することの大切さを実感しました。今後も要請をして行きたいと考えています。



石岡平和の会 石岡市長に要請・懇談を行う！ 事前に要請書を提出し、回答を受けてから懇談！！

石岡平和の会では昨年12月に要請書を提出しました。

回答は今年1月に受け取り、懇談を行いました。

1. 平和大使の派遣について

①1校につき複数の派遣ができるようにして下さい。

(回答)平成28年度は、1校につき複数名の派遣について検討していきたいと思えます。

①前に学習会をして下さい。

(回答1)市内全6中学校2年生を対象に、戦争についてのDVDを視聴後、感想を話し合い、それぞれの考えをまとめたりする時間を設定しました。

(回答2)平和大使の生徒たちを対象に、テーマの設定や現地での活動計画について、事前研修を行いました。

③派遣終了後、参加者の感想文集を取りまとめ図書館等で閲覧ができるようにして下さい。

(回答)解団式に感想発表を行いました。その原稿を感想文集としてまとめ、閲覧できる方法を検討していきたいと思えます。

④発表会を開いて、全体が共有できるようにして下さい。

(回答)市内全6中学校で全校集会や文化祭等で報告会を行いました。中でも生徒やその保護者、地域の方々を対象とした報告会が4校の文化祭で実施されました。

2. 平和資料館の整備について

先の戦争時代の、生活の様子を知る家具等、衣類、学用品、軍人・軍属・一般人の生活用具など、収集展示をして、戦争遂行のため全てを犠牲にしたこと等、過去のこととして消し忘れないようにして下さい。

(回答)石岡市では、近代の市民生活に関する資料も、可能な限り保存を図っています。

ご提案の「先の戦争時代」の資料に関しても、市民の皆様からの寄贈を中心に、収集・保存しています。また、掩体壕などの戦争遺跡や出土遺物についても、所有者、関係者の皆様のご協力のもと、保存に努めているところです。(以下略)

3. 戦争体験記録集の整備について

戦後70年が経ち、当時の軍人・軍属の方や民間の方が高齢となり、実体験をまとめることは貴重な事柄です。後世にきちんとした形で残すことをして下さい。

(回答)戦争を経験した方々が高齢となり、その方たちの記憶を風化させることなく語り継がれることの大切さを痛感しております。昨年の市報(8月15日号)においては、戦争体験の方からお話を聞く機会を設け、その時の様子を記事にしました。(以下略)

4. 8月15日を基軸とした平和に関するの催事について

市民一人一人が、平和の大切さ・尊さを考える場として下さい。

(前略)市役所庁舎内で、原爆・戦争に関するパネル展の開催を行ない、庁舎を訪れた方々や、市民の方々に当時の様子をご覧頂く機会がありました。(中略)新庁舎完成後、再開出来ればと考えております。

5. 自衛官募集対象者情報の提出について

「自衛官及び自衛官候補生の募集のために必要な募集対象者情報の提出について」自衛隊関係者から依頼があっても、作成及び交付はしないようにして下さい。

(前略)国防・災害救助といった国民の生命と財産を守る非常に重要な任務を担うこととなる人材を確保するために、地域の情報を的確に把握でき、かつ多くの窓口を持つ都道府県や市町村がその事務を担う必要があることから、「都道府県知事及び市町村長は、政令で定めるところにより、自衛官及び自衛官候補生の募集に関する。

常陸大宮地域のとりくみ

平和の会が呼びかけ、 地域6団体で結成した



「被爆者国際署名連絡会」 で平和運動に取り組む！

常陸大宮地域では平和委員会が呼びかけ、美和・緒川平和の会、大宮平和の会、国民救援会常陸大宮支部、新日本婦人の会常陸大宮支部、母親連絡会等の6団体で「被爆者国際署名連絡会」を結成し、大宮市には「連絡会」の名前で申し入れられました。交渉（懇談）には各団体の代表が参加しました。

2016年10月5日、常陸大宮市長に対して「被爆者国際署名をしてほしい」という要請をしました。市長自身に署名を要請、職員にも協力してほしいことを申し入れました。

またそれとは別に、市長と教育長に対して「広島や長崎に平和大使を派遣すること」を、文書で申し入れました。まずは市長へ交渉を申し入れたところ、要請をしなかった教育長も同席してくれました。市長の返事は「ほかの研修もあり、そちらに予算がかかるから」などと言を左右して、はっきりとした返答はありませんでした。

要請文は美和・緒川平和の会の堀江さん（県平和委員会代表理事）が作成しました。現在、被爆者国際署名に集中して取り組んでいますので、一段落した年明けに改めて市に文書を提出して交渉（懇談）を申し入れることや、市が現在行っている「適齢者名簿の自衛への提出」を止めるよう申し入れることを考えています。

新しい年2017年も、

あきらめない！へこたれない！

息長く、元気を出して！

茨城県平和委員会・事務局

意見広告に対する感想が寄せられています。
いくつかを紹介します。



▼封書で寄せられました

拝啓

貴委員会の2016.12.10付 朝日新聞の意見広告を拝見しました。

100%賛同します。これと同じ広告を世界の有力紙に掲載することを望みます。

追加の意見として、人を殺す武器の輸出で死の商人ならぬ死の国家となった政商国家はいりません。

貴委員会と同様な委員会が各都道府県へ広がることを期待します。平和を獲得する 為には忍耐と苦渋を耐え忍ばなければなりません。今の政治家のほとんどは戦争の実体験がなく、本当の悲惨さ、残虐さ、恐ろしさと多くの不幸を知りません。又政治家の殆どは兵士として出発することは無い故、自分自身の危険度はないので、勝手に政策を他人事のように決めていきます。我々は衆愚であってはなりません。

この様な意見広告の継続はやがて大きなうねりとなり、力となるでしょう。そして又言論の自由がある間しか広告することが出来ません。広告できるのは今なのです。 敬具

平和委員会各位様

2016.12.11 K, F

▼メールで寄せられました 「2016年12月10日 土曜日 11:24 付け」

件名 まさに「原発は知らない」です。

茨城県平和委員会様

今日の朝日新聞の一ページの意見広告

まさに私が言いたいこと、ずばりです。「戦争法、原発、沖縄に基地は知らない」です。

大いに推進しなければならないことです。

それにしても、安倍政権は全く反対のことをやっています。

しかも、安倍政権の支持率が5割から6割とはどういうことでしょうか。

世論調査は、あまり信用していませんが、皆はそうかなと思ってしまうのが怖いです。

マスコミ、新聞、テレビは、本来、時の政権を批判すべきなのに、むしろ、言ったことを垂れ流し、同調しているように思われます。

安倍首相と食事を一緒にしたり、一緒にゴルフをしたりしては、批判はできません。

ある面で、韓国の朴大統領批判の連日のデモはすごいと思います。ますます貴茨城県平和委員会の活動を進めてください。 J, S

▼メールで寄せられました「2016年12月10日 月 曜日 14:30」

《事務局にメールが来ていました》

本日の朝日新聞全面広告には心強いものを感じました。

「知らない」願いが結実するようになりたいものです。

なお、下記について教えてください。

読売新聞、産経新聞にも広告が出ていますか？

これが大事です。

常陸太田 S, Y



▼「はがき」で寄せられました。

12月10日 朝日 胸のすくような一面ぶち抜き平和広告。書かれている通り、日本人の一部あるいは大部は侵略戦争を忘れてる。歴史を学ばない。

日本人に武力をもたせたらどんなことになるか。

「原発知らない」「沖縄に基地知らない」も同感 血の惨劇の後得た日本国憲法 民主主義 人権を必ず守らなければならない。

国民啓発の努力に敬意。 古河市 S, F

▼口頭での寄せられました

意見広告には毎年協力しています。今回も趣旨に賛同して自分を含め、7人の方に賛同いただきました。賛同申込書にあった「12月8日付」の掲載紙を買いました。しかしどこを見ても掲載されていません。協力をお願いした方へは「12月8日に掲載される」と説明してきました。予定した日に掲載されない場合があるのなら、そのことがわかるような説明がなければおかしい。（ひたちなか市・男性）